TOP 10
Training program for Oncology Professionals in 10 Universities

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン ー高度がん医療開発を先導する専門家の養成ー

2015年度 第4回市民公開講座・QOLシンポジウム

申込不要

入場無料

がんサバイバーシップ

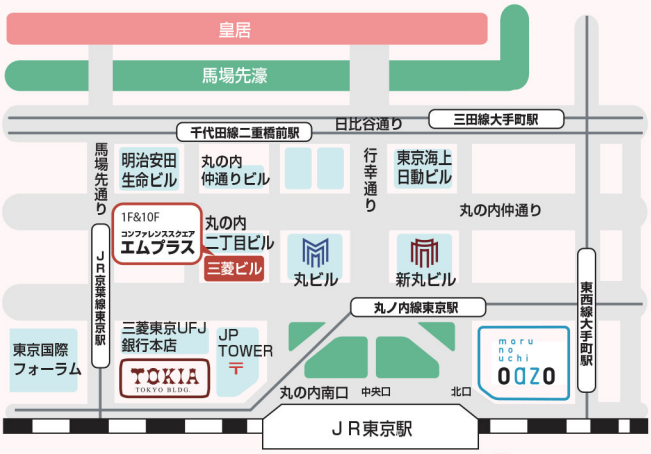
生活の支障を改善するケアとリハビリテーション

第4回市民公開講座・QOLシンポジウムでは「サバイバーシップ」をテーマに、皮膚障害に対する皮膚ケアに焦点をあててご講演頂きます。
また、シンポジウムではがんの治療に伴う様々な症状に焦点を当て、それらの症状によって生じる日常生活の支障を改善することを目指したケアについて多職種の方にご講演頂きます。
市民の皆様、医療関係者、学生の皆様など、多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。

日　時　2015年10月3日(土)
14:00–16:40

場　所　コンファレンススクエア M+（エムプラス）
東京駅直結

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル1F(グランド)
Tel：03–3282–7777



- JR「東京駅」丸の内南口徒歩約2分
  京葉線「東京駅」10番出口より直結
- 東京メトロ丸ノ内線「東京駅」地下道経由徒歩約3分
- 東京メトロ千代田線「二重橋前駅」4番出口徒歩約2分
- 都営三田線「大手町駅」D1出口徒歩約4分
- 東西線「大手町駅」B1出口徒歩約6分

※公共交通機関をご利用いただきますようよろしくお願いいたします。

問い合わせ先

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科
（湘南藤沢キャンパス）がんプロ担当事務室

〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411
Tel:0466-49-6200
Email:ganpro-gshm@adst.keio.ac.jp

プログラム

開会挨拶 14:00–14:05
司会　小松　浩子
（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科　教授
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン　コーディネーター）

市民公開講座 14:05–14:55
「サバイバーシップ：
皮膚障害に対する皮膚ケア」
講師　清原　祥夫
（静岡県立静岡がんセンター皮膚科　皮膚科部長）

休憩 14:55–15:05

シンポジウム 15:05–16:35
「生活の支障を改善する
ケアとリハビリテーション」
司会　辻　哲也
（慶應義塾大学医学部　リハビリテーション医学教室　准教授）

1. 末梢神経障害に対するリハビリテーション
   立松　典篤
   （国立がん研究センター東病院　骨軟部腫瘍・リハビリテーション科　理学療法士）
2. 日常生活における副作用対策（嘔気、味覚障害など）
   大畑　美里（聖路加国際病院　がん看護専門看護師）
3. アピアランスケアー患者さんの「生きる」を支援するー
   野澤　桂子（国立がん研究センター 中央病院　アピアランス支援センター長）
4. 日常生活における副作用対策：薬剤師の立場から
   鈴木　小夜
   （慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター　医療薬学部門　専任講師）

閉会 16:40

主　催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 高度がん医療開発を先導する専門家の養成